

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公開番号】特開 2012-244353 (P2012-244353A)  
【公開日】平成 24 年 12 月 10 日 (2012.12.10)  
【年通号数】公開・登録公報 2012-052  
【出願番号】特願 2011-111576 (P2011-111576)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/50 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 30 日 (2014.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を符号化のインター動き予測補償処理を重み係数で重み付けしながら行う重み付け予測のモードである重みモードを、所定の領域毎に判定する重みモード判定部と、

前記重みモード判定部により判定された重みモードを示す重みモード情報を、前記領域毎に生成する重みモード情報生成部と、

前記重みモード情報生成部により生成された前記重みモード情報を符号化する符号化部と

を備える画像処理装置。

【請求項 2】

前記重みモードは、前記重み係数を用いて前記インター動き予測補償処理を行う重み付け有りのモードと、前記重み係数を用いずに前記インター動き予測補償処理を行う重み付け無しのモードとを含む

請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記重みモードは、前記重み係数を用いて、重み係数を伝送する Explicit モードで前記インター動き予測補償処理を行うモードと、前記重み係数を用いて、重み係数を伝送しない Implicit モードで前記インター動き予測補償処理を行うモードとを含む

請求項 1 または請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記重みモードは、互いに異なる重み係数を用いて前記インター動き予測補償処理を行う、複数の重み付け有りのモードを含む

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記重みモード情報生成部は、前記重みモード情報の代わりに、前記重みモードと、前記インター動き予測補償処理のモードを示すインター予測モードとの組み合わせを示すモード情報を生成する

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記重みモード情報生成部が前記重みモード情報を生成する前記領域のサイズを制限す

る制限部をさらに備える

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記領域は、前記インター動き予測補償処理の処理単位の領域である

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記領域は、Largest Coding Unit、Coding Unit、若しくは、Prediction Unitである

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記符号化部は、前記重みモード情報をCABACで符号化する

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 10】

画像処理装置の画像処理方法であって、

重みモード判定部が、画像を符号化のインター動き予測補償処理を重み係数で重み付けしながら行う重み付け予測のモードである重みモードを、所定の領域毎に判定し、

重みモード情報生成部が、判定された重みモードを示す重みモード情報を、前記領域毎に生成し、

符号化部が、生成された前記重みモード情報を符号化する

画像処理方法。

【請求項 11】

画像の符号化において、インター動き予測補償処理を重み係数で重み付けしながら行う重み付け予測のモードである重みモードが、所定の領域毎に判定され、前記重みモードを示す重みモード情報が前記領域毎に生成され、前記画像とともに符号化されたビットストリームを復号し、前記ビットストリームに含まれる、前記重みモード情報を抽出する復号部と、

前記復号部により復号されて抽出された前記重みモード情報に示される重みモードで、動き補償処理を行い、予測画像を生成する動き補償部と

を備える画像処理装置。

【請求項 12】

前記重みモードは、前記重み係数を用いて前記動き補償処理を行う重み付け有りのモードと、前記重み係数を用いずに前記動き補償処理を行う重み付け無しのモードとを含む

請求項 11 に記載の画像処理装置。

【請求項 13】

前記重みモードは、前記重み係数を用いて、重み係数が伝送されるExplicitモードで前記動き補償処理を行うモードと、前記重み係数を用いて、重み係数が伝送されないImplicitモードで前記動き補償処理を行うモードとを含む

請求項 11 または請求項 12 に記載の画像処理装置。

【請求項 14】

前記重みモードは、互いに異なる重み係数を用いて前記動き補償処理を行う、複数の重み付け有りのモードを含む

請求項 11 乃至請求項 13 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 15】

重み係数が伝送されないImplicitモードの場合、重み係数を算出する重み係数算出部をさらに備える

請求項 11 乃至請求項 14 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 16】

重みモード情報が存在する前記領域のサイズを制限する制限情報を取得する制限情報取得部をさらに備える

請求項 11 乃至請求項 15 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 17】

前記領域は、前記インター動き予測補償処理の処理単位の領域である

請求項 1 1 乃至請求項 1 6 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 1 8】

前記領域は、Largest Coding Unit、Coding Unit、若しくは、Prediction Unitである

請求項 1 1 乃至請求項 1 7 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 1 9】

前記重みモード情報を含むビットストリームはCABACで符号化されており、前記復号部は、前記ビットストリームをCABACで復号する

請求項 1 1 乃至請求項 1 8 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 2 0】

画像処理装置の画像処理方法であって、

復号部が、画像の符号化において、インター動き予測補償処理を重み係数で重み付けしながら行う重み付け予測のモードである重みモードが、所定の領域毎に判定され、前記重みモードを示す重みモード情報が前記領域毎に生成され、前記画像とともに符号化されたビットストリームを復号し、前記ビットストリームに含まれる、前記重みモード情報を抽出し、

動き補償部が、復号されて抽出された前記重みモード情報に示される重みモードで、動き補償処理を行い、予測画像を生成する

画像処理方法。